

■新しい体系(案)

分野別の目標／基本的な方向	分科会での主なご意見等	現行計画との対照	既存の事業	事業につながるご意見等
1. スポーツを身近に感じる機会の拡充				
(1)スポーツの楽しさを知る機会の創出	○イベントなどのスポーツに触れるきっかけは多くある。 ○気軽に遊びながら楽しめるということを知ることが大事である	新規	・スポーツ活動への参加機会の充実	・ケーブルテレビ等のメディアでの試合中継
(2)スポーツ観戦の機会の拡充	○複数の競技の観戦チケットを区民向けに割引でパッケージできるとよい ○トップアスリート以外のスポーツの観戦を身近にできるとよい	3-(2)	・2020年オリンピック・パラリンピック及びFIFAワールドカップ気運醸成事業	・文京LBレディースの応援 ・オリ・パラ選手への支援事業(応援基金など)
(3)プロスポーツ等団体との連携・協力	○プロ競技の観戦の区民優待が充実するとよい ○プロが使用する施設を稼働が少ない時間に区民が活用できるとよい	3-(1)	・企業団体等との協働事業	・区内共通割引チケットの発行
2. いつでも、どこでも、誰もが気軽に楽しめるスポーツ活動の促進				
(1)スポーツを楽しむ人を増やす	○女性がスポーツをする環境があまりない ○まちなかで身体を動かす機会があるとよい	1-(2)	・スポーツ体験教室の開催	・民間事業者、PTAとの連携 ・ウォークラリー(観光・生涯学習・文芸と連携)
(2)多様なニーズに対応するプログラムの提供	○働き盛り・子育て世代で「スポーツをしたくてもできない」人が多い ○文京区独自のスポーツに関わる取組みがあるとよい	2-(3)	・小中学生対象の事業の充実 ・生活技術を身につける学習機会の充実	・民間事業者との連携 ・親子で参加できる事業
(3)スポーツを共に楽しむ意識の醸成	○アスリートではないので、みんなで楽しめる機会をもてるとよい ○パラリンピックの種目などを皆で一緒に楽しめるるとよい	新規	・スポーツ活動への参加機会の充実	・文京区ならではの種目(パラ種目の実施) ・東京ドームを使った目玉事業
(4)障害者スポーツの普及振興	※2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催 ※東京都障害者スポーツ振興計画	新規	・障害者がスポーツを楽しめる機会を提供する ・2020年オリンピック・パラリンピック機運醸成事業	・健常者と障害者が一緒に利用する時間帯をつくる ・健常者と障害者が一緒に参加できる事業
3. スポーツ活動を支える環境の整備				
(1)気軽にスポーツを楽しめる環境の整備	○既存の施設の有効活用を考えられるとよい ○文京区以外の施設や民間フィットネスクラブと連携・協力できるとよい ○まちなかで身体を動かす機会があるとよい	2-(1) 2-(2)	・スポーツ施設の整備 ・スポーツの交流ひろばの充実 ・こどもひろばの充実	・町なかで軽運動ができる環境づくり ・坂道を利用したウォーキングコース ・民間事業者との連携
(2)スポーツ指導者等の育成と確保、技術の強化	○スポーツ指導員をもっと活用すべき ○指導者の特性をふまえた適切な人材活用を考える必要があるのではないかと	4-(1) 4-(2)	・スポーツ推進委員の活用 ・スポーツリーダーの活用 ・スポーツ交流ひろば指導審の活用	・年齢とレベルに応じた指導者育成 ・指導者の特性を活かした活用
(3)スポーツボランティア等の活動支援	○競技指導のほかにもコミュニティプログラムなど、1つのテーマに着目した取組みを考えてもよいかもしれない	新規	・スポーツ団体の育成 ・スポーツ推進委員会活動への支援	・オリ・パラボランティアの育成
(4)スポーツに関する情報の発信と相談体制の整備	○情報を集約し、発信し続けることが大事である ○世代ごとにメディアを使い分けた広報が重要である	1-(1)	・地域スポーツ情報の提供 ・学習成果発表の機会の充実	・受け手に適した媒体の利用
4. スポーツを通じたコミュニティづくり				
(1)スポーツを通じた仲間づくり	○様々な世代の区民がスポーツを通じて交流できるとよい ○スポーツの講座のOB・OGのコミュニティができるとよい	新規	・地域スポーツクラブの育成	・コミュニティプログラムに特化した事業 ・運動の後に交流(お茶)ができる場所
(2)スポーツを通じた交流	○都市間対抗戦等を通じた交流によって地域を盛り上げられるとよい ○文京区内に限らず、他の地域でもスポーツを楽しめるとよい	2-(4)	・親と子どもが共に学習する機会の提供	・都市間対抗野球やNBPとの連携